

編集について

本年報は平成30年中に北九州市が取り扱った保健統計（人口動態・病院報告・医療施設調査など。ただし、母体保護統計は平成30年度分を収録）及び平成30年度の事業統計（母子保健・成人保健など）を収録したものである。

保健統計

1. 統計の種類

(1) 人口動態統計

ア 北九州市に住所を有する日本人の日本における事件発生のうち、平成30年1月1日から平成30年12月31日の間に事件が発生したものであって、平成31年1月14日までに届け出られたものを集計したものである。

イ 用語の解説

自然増加	出生数から死亡数を減じたもの
乳児死亡	生後1年未満の死亡
新生児死亡	生後4週未満の死亡
早期新生児死亡	生後1週未満の死亡
死産	妊娠満12週以後の死児の出産 ※死児とは、出生後において心臓搏動、随意筋の運動及び呼吸のいずれも認めないものをいう。
自然死産と人工死産	人工死産とは、胎児の母体内生存が確実であるときに、人工的措置（胎児または付属物に対する措置及び陣痛促進剤の使用）を加えたことにより、死産に至った場合をいい、それ以外はすべて自然死産という。なお、人工的措置を加えた場合でも、次のものは自然死産という。 1) 胎児を出生させることを目的とした場合 2) 母体内の胎児が生死不明か、または死亡している場合
周産期死亡	妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡をあわせたもの

(2) 母体保護統計

この統計は母体保護法の規定に基づいて医師または指定医師から報告される「不妊手術実施報告書」及び「人工妊娠中絶実施報告書」をもとにして作成したものである。

(3) 病院報告

この統計は医療法施行規則に基づき、毎月病院管理者から提出される報告を集計したものである。

(4) 医療施設調査

平成30年10月1日現在において、医療法に基づき許可または届出されている病院・診療所・歯科診療所（保健所は除く）を対象として実施された医療施設静態調査の結果を集計したものである。

(5) 感染症及び食中毒統計

この統計は医師から届出された感染症及び食中毒の患者について集計したものである。

2. 比率の算出方法

この年報で用いた比率の算出方法は次のとおりである。なお、グラフ及び表中の率並びに率の合計は、端数処理上多少の誤差を生じることがある。

(1) 人口動態統計

$$\text{出生率} = \frac{\text{年間出生数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{合計特殊出生率} = \left\{ \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}} \right\} \text{ 15歳から49歳までの合計}$$

$$\text{死亡率} = \frac{\text{年間死亡数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{乳児死亡率} = \frac{\text{年間乳児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{新生児死亡率} = \frac{\text{年間新生児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{自然増加率} = \frac{\text{自然増加数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{死産率} = \frac{\text{年間死産数}}{\text{年間出産数 (出生数+死産数)}} \times 1,000$$

$$\text{自然死産率} = \frac{\text{年間自然死産数}}{\text{年間出産数 (出生数+死産数)}} \times 1,000$$

$$\text{人工死産率} = \frac{\text{年間人工死産数}}{\text{年間出産数 (出生数+死産数)}} \times 1,000$$

$$\text{周産期死亡率} = \frac{\text{年間周産期死亡数}}{\text{出生数+妊娠満22週以後の死産数}} \times 1,000$$

$$\begin{aligned} \text{妊娠満22週以後の死産率 (総数・自然・人工)} \\ = \frac{\text{年間妊娠満22週以後の死産数 (総数・自然・人工)}}{\text{出生数+妊娠満22週以後の死産数}} \times 1,000 \end{aligned}$$

$$\text{早期新生児死亡率} = \frac{\text{年間早期新生児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{婚姻率} = \frac{\text{年間婚姻届出件数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{離婚率} = \frac{\text{年間離婚届出件数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{死因別死亡率} = \frac{\text{年間死因別死亡数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 100,000$$

$$\text{平均婚姻年齢} = \frac{\text{届出時月齢総計}}{\text{年間婚姻届出件数}} \times 1/12$$

※平成30年に結婚生活に入り届け出たもの

(2) 病院報告

$$\begin{aligned} \text{1日平均在院患者数} &= \frac{\text{年間在院患者延数}}{\text{年間日数}} \\ \text{1日平均新入院患者数} &= \frac{\text{年間新入院患者数}}{\text{年間日数}} \\ \text{1日平均退院患者数} &= \frac{\text{年間退院患者数}}{\text{年間日数}} \\ \text{1日平均外来患者数} &= \frac{\text{年間外来患者延数}}{\text{年間日数}} \\ \text{年間病床利用率} &= \frac{\text{1日平均在院患者数}}{\text{6月末病床数}} \times 100 \\ \text{平均在院日数} &= \frac{\text{年間在院患者延数}}{1/2 \times (\text{年間新入院患者数} + \text{年間退院患者数})} \end{aligned}$$

(3) 感染症統計

$$\text{罹患率} = \frac{\text{年間届出患者数}}{\text{10月1日現在人口}} \times 100,000$$

3. 諸率の算出に用いた人口

- (1) 人口動態統計 平成30年10月1日現在日本人推計人口
資料：「福岡県人口移動調査」より
- (2) その他の統計 平成30年10月1日現在北九州市推計人口
資料：企画調整局政策部企画課より

※ 国、県及び他都市が公表する率とは、算定に用いた人口が異なるため合致しない事がある。

4. 表章記号の規約

計数のない場合	—
計数不明の場合又は計数を表章することが不適當な場合	…
統計項目のあり得ない場合	•
比率が0.05未満の場合	0.0

事業統計

地域保健・健康増進事業報告、衛生行政報告例などをもとに、各種事業の統計を11章に分類したものである。項目などの記述については厚生労働省の報告様式に準じたが、一部には独自のものをを用いた。

1. 表章記号の規約

計数のない場合	—
計数不明の場合又は計数を表章することが不適當な場合	…
統計項目のあり得ない場合	・
比率が0.05未満の場合	0.0

ホームページによる閲覧

北九州市保健福祉局 保健衛生部 医務薬務課ホームページでは、本年報のデータを掲載しており、統計表の閲覧を可能としている。

【北九州市ホームページURL】

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp>

(訂正や追加情報等は上記ホームページを参照のこと)

〒802-8560

北九州市小倉北区馬借一丁目7番1号

北九州市保健福祉局 保健衛生部 医務薬務課

TEL 093-522-8726 FAX 093-522-8774